

(第3種郵便物認可)

# 海外進出先の人材不安解消

中国や東南アジア諸国連合(ASEAN)に進出する製造業の日系企業を手助けしようと、人材サービスのテクノスマイル(福岡県宮若市)が、外国人を育成・紹介する事業に乗り出す。自動車など製造業のアジ

## 福岡のトヨタOB企業

ア進出が進む中、地場中小企業が進出先で人材の育成や確保に困っているため。日本で育成した外国人エンジニアを企業に紹介したり派遣したりすることで、企業の海外進出を後押しする。

# 外国人技術者 国内で育成へ

## 日系メーカーに紹介

テクノスマイルは昨年5月、人材サービスのアウトソーシング(東京)と、合併会社「アジアMONOづくり研究所」(福岡市)を設立。産学官の専門家など7人でつくる理事会を社内7に設置した。製造業と教育現場の現状やニーズを事業内容に反映するため、理事会で意見をまとめている。新会社の社長はテクノ社社長の馬見塚譲氏が務め、理事会の理事長に雨沢政材氏が就任した。2人ともトヨタ自動車九州(福岡県宮若市)の元副社長だ。

新会社では、中国やベトナム、タイ、ミャンマーで留学生を募集する。提携先の麻生工科大学の3年間、設計・開発などの専門技術を学び、日本語やビジネスマナーも習得してもらう。卒業後、企業に外国人エンジニアとして紹介したり、テクノ社を通じて派遣したりする。手始めに、来春の入学に合わせて中国で5〜10人を募集。その後、対象国を拡大する。

また、中国やASEANからの留学生向けに、ビジネス用の日本語やマナーを学べるアプリを10月から提供する計画。将来は、トヨタOBなどを現地に派遣し、工場立ち上げや改善活動などのコンサルティング業務を行う構想もある。

アジアの経済成長や国内の人手不足などを背景に、日系企業の海外進出は増えている。しかし中小企業からは、進出業務を担った後、進出後に幹部になったり、進出後に幹部になったりする外国人の人材がないとの声も強い。雨沢理事長は「アジアビジネスの成功には、優れた人材の確保が必要だ。日系企業にマッチし、持続的に活躍できる外国人を紹介して、役に立ちたい」と話す。

(中野雄策)